

明徳幼稚園のセンス・オブ・ワンダー



草花遊び



ニホンイシガメの子



岩倉川で見つけた生き物



ハグロトンボのヤゴ



羽化したオオムラサキ



ショウワリョウバッタ



長谷土田公園にいたコクワガタ



忠在地公園にいたキマダラルリツバメ

世界的なベストセラー「センス・オブ・ワンダー」が森田真生の新訳で出版されました。テーマは、「親子で自然に親しむ」ということです。明徳幼稚園では、園児が自然に親しむ活動が多くあります。園の外でも親子で自然を楽しめばもっと良いなと思います。レイチェル・カーソンさんは、「親としてできることはたくさんあります。今いる場所で子どもといっしょに空を見上げることができます。夜明けや黄昏の空の美しさ、雲や星の動き…」と言っています。岩倉は夏に美しい夕焼けが見られます。秋には満月が、冬には大きな虹が見られます。見ることで「わあっと！」感動することが大事です。どれも一瞬の出来事なので、いつも気にとめている必要があります。私は、長谷土田公園で花を育てています。そこに多くの昆虫がやって来るようになりました。公園で孫に、ある実験をしています。小さな生き物を持たせて、スマートフォンで撮影して記録しています。初めは、怖がっていたのですが、生き物の扱い方がだんだん上達して、自信を持つ様子が良く分かります。生き物の名前を知ることで、親しみが深まります。スマートフォンを使えばAIが教えてくれる時代ですが、私は図鑑で特徴を見比べ苦労して名前を共に知ることが大事だと考えています。親子で自然に親しむことができる期間は意外に短いのです。それは今です。京都に住む森田真生さんが父親として、4歳と1歳の2人の息子と共に自然に向き合う日々を描いた物語「僕たちのセンス・オブ・ワンダー」がとても参考になります。

明徳幼稚園や公園で見つけた自然通信 2024年7月

「親子で自然に親しむ方法とは？」

岩倉自然学習ボランティア 村上 幹夫